

2025年(令和7年)1月1日



第 55 回 坂下歌舞伎特別公演



12月1日(日)、坂下公民館で「第55回坂下歌舞伎特別公演」が行われ、約250人の来場者がありました。

開演前に、坂下歌舞伎出身の歌舞伎役者・市川笑三郎さんから御祝メッセージが届けられました。また、今回初めて、歌舞伎ソムリエ・おくだ健太郎氏によるイヤホン解説があり、とても好評でした。

この公演は、「令和6年度坂下歌舞伎子ども教室」の発表会も兼ねており、今年度教室に参加した13人の子ども達が稽古の成果を存分に発揮しました。

二幕目には、坂下小中学校、坂下高校の校長・教頭先生、坂下郵便局長らが出演。『青砥稿花紅彩画 稲瀬川勢揃いの場』の演目で、一人一人口上を述べて見得を切り、会場は大いに盛り上がりいました。

保存会員の幕では会員の熱演が観客を魅了し、特別公演の最後を締めくくりました。



当日、坂下中学校の生徒が「歌舞伎茶屋」(協力:地元の料飲組合)や、受付でボランティアとして活躍しました。

桜の湖そばの花まつり 2024in 月の市 【絵手紙コンテスト・フォトコンテスト】入選作品

9月に開催しました、「桜の湖そばの花まつり 2024in 月の市」のイベントにおける【絵手紙コンテスト(坂下文化協会共催)】及び【フォトコンテスト(岐阜新聞社、岐阜放送共催)】の審査結果が発表されました。

入選者は以下の通りです。なお、この作品は今後の各イベント等に活用されます。(敬称略)



【絵手紙コンテスト】

最優秀賞作品



【絵手紙コンテスト】

最優秀賞	溝口 高史	(愛知県刈谷市)
優秀賞	粥川 祐衣	(中津川市付知町)
	佐藤 元太	(中津川市駒場)

【フォトコンテスト】
最優秀賞作品

【フォトコンテスト】

最優秀賞	「そばと朝霧」	青木 孝義	(中津川市苗木)
優秀賞	「そば畑いいぞー」	吉村 清	(中津川市下野)
	「壯觀そばの花」	石田 裕道	(恵那市三郷町)

特別賞 (やさか観光協会長賞)	「白いじゅうたん」	市川 文之	(恵那市長島町)
--------------------	-----------	-------	----------

ひまわりの会チャリティーバザー開催

11月17日(日)、坂下総合体育館で、やさか地区ひまわりの会チャリティーバザーが開催されました。

当日は、300名以上の来場者があり、地域の皆様から寄せていただいた多くの品物の中から、好みの品物を見つけて購入してみました。

地域の皆様、ご支援、ご協力をありがとうございました。

今年も美濃坂下ライオンズクラブ様から→
物品をご提供いただきました



↑会場の様子

市・県民税の申告受付期間のおしらせ

昨年より早い時期での受付期間となります。ご注意ください。
詳しくは、2月号でお知らせいたします。

日にち：2月14日（金）～19日（水）土日除く
場所：坂下総合事務所本庁舎1階申告会場

区長会通信

①坂下診療所の民間譲渡の検討状況についての要望書の回答(要約)

要望書の詳細については、坂下タイムズ12月号P2下段をご覧ください

1) 坂下診療所の民営化への現状について (病院事業部経営企画課より回答)

現在の状況は、市内開業医及び市医療関係者から、広くご意見を聞いたところであり、運営事業候補者である医療法人純正会様と現在も継続して協議中です。今後は、「市医療需要検証プロジェクトチーム」と連携し、坂下診療所に係る諸課題を含め、中津川市全体の市民に望ましい医療提供体制の構築に取り組んで参ります。

2) 市医療需要検証プロジェクトチーム（坂下診療所民営化再検討プロジェクト）について（市長公室より回答）

○設置の趣旨について

現在ある医療施策に係る諸課題の課題解決に向け、府内のそれぞれの立場から改めて医療需要を検証する必要があると考え設置をしました。

○民営化への係わり方

直接的に坂下診療所の民営化について検討・判断するものではなく、坂下診療所に係る諸課題を含め中津川市全体の市民に望ましい、医療提供体制構築に係る医療需要を検証するチームです。

今後、やさか地区の区長会及びまちづくり協議会で連携を取り、民営化の更なる推進活動を実施します。皆さんのご理解、ご協力を宜しくお願ひします。

②区長会連合会の視察研修で長野県箕輪村へ！

研修の背景：人口増加率、出生率が長野県一、平均年齢も最も若く、県下では最も活性化・魅力ある村と言われています。
研修の概要：

1) 子育て支援施策（保険料の引き下げ／福祉医療費給付の充実／その他15項目）

2) 高齢者・障がい者への支援施策（福祉移送サービス／障がい者家賃補助／その他9項目）

今回の視察研修内容を参考に、魅力あるまちづくりを考えたいと思います。皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

ごみの収集日

燃えるごみ	2024年 特別収集日	12月 28日 (土)		
	2025年 特別収集日	1月 4日 (土)	6日 (月)	～月・木 通常収集
燃えないごみ	1月 8日 (水)	資源・硬質ごみ	1月 15日 (水)	
大型ごみ	1月 17日 (金)	有害ごみ	1月 29日 (水)	

～年末・年始のごあんない～

坂下総合事務所 休庁日 12月 28日 (土)～1月 5日 (日) 戸籍の異動（死亡届等）は坂下公民館で受け付けます。

坂下公民館 休館日 12月 27日 (金)～1月 5日 (日)

12月 28日 (土)～1月 5日 (日) 8時半～17時15分に限り、戸籍の異動（死亡届等）を受け付けます。

坂下総合体育館 休館日 12月 26日 (木)～1月 6日 (月)

国保坂下診療所 休診日 12月 28日 (土)～1月 5日 (日)

健康福祉会館あおぞら 休館日 12月 28日 (土)～1月 5日 (日)

巡回バス 運休日 12月 28日 (土)～1月 5日 (日)

郷土文化財紹介

<坂下の用水物語9 字島（河原）の開発と相沢用水>

川上川と寺屋敷谷に挟まれた河原（島平二と乙坂の地域）を開発しようとする人が現れました。島平に暮らした長谷川太郎左衛門という人で、苗木藩3代藩主友貞（1642～1676年）、4代藩主友春（1676～1712年）と交わりがあったとされます。

3代友貞は承応3年（1654年）坂下村広野新田開発令を出していましたが、開発は思うように進んでいなかつたので親交のあった太郎左衛門は思い切って川上川縁の河原開発を申し出たのではないでしょうか。時は延宝（1673年～）の頃と思われます。

太郎左衛門の河原開発は川筋の護岸工事と田にする部分の河床基礎工事とで大変なことであったようです。平成16年版坂下町史にその困難な様子が記されます。なかなか進まない工事に加えて不幸が重なりました。町史によれば、夕森山を豪雨が襲い川上川は大洪水に見舞われ開発を進めていた辺りは元の河原と化してしまいました。苗木藩から助成を得ての開発であったから失敗の責を取られ切腹というたいへん痛ましい結果となってしまいました。墓は坂下神社下方の谷の崖縁に今も残されていて、どなたか心ある方々が守をしておられるようです。



上写真は、長谷川家の墓所であろうか。左が太郎左衛門の墓とされる。寛□の年号線刻が読み取れる。

延宝元年（1673年）、坂下神社右側字平に暮らしていた八田氏が相沢万場へ移動しました。初代八田與三兵衛の名が星宮神社再興の棟札にてできます。相沢万場平の開発を進めて行くのでしょう。

太郎左衛門の様子を万場平の八田與三兵衛は見て、後の相沢用水の開発に生かし繋がって行ったと思われます。JR中央線鉄橋の下方、川上川左岸はたいへん緩やかな段丘崖で相沢の最も低いところですが、この地は相沢遺

郷土文化財保存会会員

はやかわひでの
早川英雄

跡が見つかっているので古代から人が暮らしておりました。大沼からの水利で田を開いていたのであろうが十分ではなかったから、八田與三兵衛は谷川からの取水を考えたのでしょうか。谷川沿いで乙坂と島平一境のあたりに製糸工場濃信社の水車がありました。そこらあたりが相沢用水の初期の取入口と推測します。乙坂の急峻な段丘崖下を通して今の老人施設どあいの下方をキリラ駐車場手前まで潤していました。

その後、八田氏2、3代目あたりが、長谷川太郎左衛門の失敗後の河原再開発を考えたのでしょうか。今のやさか児童園前から南へ向かう堤防道路の中ほどで川上川より水を取り入れ緩やかに流し字ヤマサ裏、乙坂公会堂横、最後は川上川へ落したと考えます。これで島平二と乙坂の田畠を潤すことになりました。



左写真は、字島の河原開発で造られた用水（後に相沢用水となる）と考えられる辺り。この場所から堤防道路を越えた位置が川上川左岸である。かつての川上川河床は道路の高さに近かつたので、ここで取水したと思われます。

この2つの用水が旧濃信社の水車の辺りで繋がり、1つの用水として相沢用水と言われるようになるのは、もっと後のことであると思われます。

右の写真は、残された古い相沢用水路。今は排水路となってしまった。乙坂の段丘崖最低部を清らかな水があふれんばかりに流れしていく、わたしの育つ頃は生活の場でした。筏舟を流し相沢まで追跡し遊んだり、年寄り達の野菜洗いを手伝わされたりしました。



毎月第3日曜日は「家庭の日」 中津川市青少年健全育成推進市民会議

みんな そろって たのしい ごはん

坂下高校 賢・剛・優

修学旅行・沖縄

11月11日（木）から14日（木）の3泊4日、2年生が沖縄へ修学旅行に行ってきました。初日は戦跡を訪ね、戦争体験講話を聞くなどして戦争の悲惨さや平和の意義を再認識しました。

2日目、3日目にはタクシー研修やマリン体験、離島の伊江島での民泊体験等を通して壮大な沖縄の自然・文化に触れ、自らの視野を広げてきました。最終日には再建中の首里城を見学することで、沖縄の歩んできた歴史を改めて考える機会となりました。

学校では体験できない貴重な学習の場として、一人一人が成長することができました。そして仲間との絆も深まりました。



坂下小学校 ひとりだち

ひびきあい集会



11月27日（水）、児童集会『ひびきあい集会』を行いました。坂下小では『ふわふわ言葉』『ふわふわ行動』を使って、自分のことと仲間のことも大切にできる坂下小になろうという取り組みをしています。この集会では学級ごとの成果を発表し合いました。1日ごとに振り返って、できたらパズルのピースを一つずつ貼り、絵を完成させます。子ども達は絵が完成した喜びを伝えるだけでなく、取り組みを通して「心が温かくなった」「うれしかった」と、『ふわふわ言葉』と『ふわふわ行動』のよさに気づいたと伝えてくれました。また「これからも続けていきたい」と話す学級が多くありました。発表中は一生懸命話を聞いたり、拍手で代表の子や取り組んだ学級のがんばりをたたえたりするなど、温かい雰囲気に包まれました。これからも心温かい坂下小になっていくことが期待できる集会でした。

《1月の主な行事》

ごみの収集日は2ページに掲載しています。

日	曜日	行事名	時 間	場 所
1	水	元旦走り初め 新春イキイキ健康ウォーキング	受付 9:50~	宮の前農村公園
2	木	交通安全祈願祭	9:00~	坂下神社
5	日	出雲福徳神社五日えびす大祭	8:30~	出雲福徳神社
6	月	官公庁 仕事始め		
12	日	やさか二十歳の集い	9:30~11:30	坂下公民館
15	水	行政・人権相談	13:00~15:00	坂下総合事務所第2庁舎
16	木	いきいき元気教室	13:30~14:30	坂下公民館
24	金	定例区長会	13:30~	坂下総合事務所第2庁舎
25	土	おはなしの会	10:00~11:00	坂下公民館
26	日	岐阜県知事選挙	7:00~18:00	坂下各投票所
30	木	やさか地区農業委員会	9:00~	坂下総合事務所
		農地相談	9:30~	

坂下中学校 超升先輩

11月8日（金）、坂下総合体育館で合唱祭を行いました。今年度のスローガンは、『高める～仲間と心をひとつにし、全員で感動を届けられる合唱を創り上げる～』でした。スローガン達成を目指し、合唱が得意な生徒も、苦手な生徒も自分と向き合い練習しました。時には限界を感じながらも、それでもなお今の自分を越えていく、強い願いをもって取り組みました。お互いの思いを伝え合うことで、合唱を通して、体育祭以上に学級の絆が強まりました。



合唱祭当日は、仲間と共に一つのことを創り出す心地よさを感じることができました。それは、坂下中五本柱の一つ「合唱」を姿で示しきった瞬間でした。仲間と共に精一杯挑戦していく、その気持ちを今後の学校生活の様々な場面で発揮してほしいと願っています。

やさかこども園 かがやく瞳

木のお家作り



木育の一環で、年長組が園庭の高台（トトロの木の横）に『木のお家』を作りました。木のお家作りに向けて、子ども達が近場の山に出てかけて、木やツルを集めました。また、保護者の方にお声がけし、木の収集にご協力いただきました。

11月15日（金）、組み立て当日は、天気の心配もありましたが、予定どおり屋外で木のお家作りを始めることができました。まずは、木やツルを友達と協力し、安全に気をつけながら高台に運びました。続いて竹の杭をハンマーで打ち付け、運んだ木やツルを麻ひもでくくり、木を立てかけていきました。年長組みんなの力が集まり、とても大きな『木のお家』が出来上りました。みんなで一つのものを作り上げるというすばらしい経験になりました。また、友達との絆が深められました。

慶弔のお知らせ

11月11日から12月10日の
坂下総合事務所への届出分

●ご逝去	(敬称略)
原 恵美子	(87歳) 中之垣外
小畠 君枝	(94歳) 上外
森 晶子	(79歳) 高部一
吉村 雅之	(88歳) 高部一
林 一男	(88歳) 東町
鎌田 裕	(76歳) 赤田

人口と世帯数（令和6年12月1日現在）

人口	3,956人（前月比4人減）
男	1,920人、女 2,036人
世帯数	1,628世帯（前月比4世帯減）

中津川市 坂下総合事務所

電話 | 0573-75-2111

FAX | 0573-75-4704

Mail | sakashita-office
@city.nakatsugawa.lg.jp